

前半テーマ「**例文を作ってみる**」「**なければなりません**」の文型を例に」

➤ 「なければなりません」のクラス活動

- ① 絵を見て考える。話してみる。
- ② 学習のゴールで何ができるようになる？

今日のゴール「(他の人の誘いや、仕事の依頼を)断る」ときに・・・。

「私たちや学習者の生活を反映させながら」がポイント。

➤ どのような例文をつくりましょうか・・・

地域の支援者が学習者から求められるのは、学習した文型を使って「例文」を作るだけでなく、「その文型が使えるようになること」。

気をつけたいのは、「長さ」「同じ文型」「易しい言葉」「ゴール活動で使えるもの」。

1人5例

①

②

③

④

⑤

例えば、①と同じ（似ている）文を作ってみましょう。

毎日 漢字を 覚えなければなりません。

⇒毎日宿題をしなければなりません。

毎日電車でアルバイトの場所に行かなければなりません。・・・

例えば、だんだん長くする方法として

毎日 漢字を 覚えなければなりません。

⇒ときどき国の家族に電話しなければなりません。

⇒1週間に1回、国の家族に電話して、いろいろ話さなければなりません。

毎日 八王子駅に行かなければなりません。

⇒毎日八王子駅の近くへ行かなければなりません。

⇒毎日5時から10時まで八王子駅の近くのレストランへアルバイトに行かなければなりません。・・・

➤ どう並べましょうか・・・

例文ができれば、

- ◇ 易しいものから難しいものへ、
- ◇ 短いものから長いものへ、
- ◇ ワンパターンなものから発展的なものへ

➤ どうやって練習しましょうか・・・

「おうむ返し」から、「入れ換え練習」そして、「状況練習」（断るシチュエーション）

➤ 〈ちょっとやってみましょう〉手元のメモを見ながら、練習の展開をしてみます。

*****★*****

後半テーマ「敬語の基本的な文法」

➤ そもそも私たちはどこで敬語に触れたのでしょうか？（意識して使った（覚えた）のはどんなところ？）

【どこで】

【だれと？】

【どんな話題で？】

【学び】我々の敬語使用場面を想起することが、ふりかえりや練習場面設定で役に立つ。

「改まった状況で」

「意識的に使うことが多い」

「学習者と異なるのは文法に照らすことがないこと」

・・・だとしたら文法知っておきましょう！

➤ 【金子立ち止まる…】…日本人は待遇表現をどのように使っている？…

「少人数で頂くおせち」有名デパート IS丹で。

「私の上司がおっしゃっていましたので」JR職員がインタビュー中に

「お父さんがいつもおっしゃっていたことは」番組でインタビューされたタレントが

「先生の母はどうなさっていましたか」20代日本人男性

「鶏肉に串を刺してあげて」NHK

「肩を十分にほぐしてあげてください」NHK

「犬にごはんをあげて」

「うちのお母さんに万年筆を買ってあげたいんですけど」

「こちらきつねうどんセットになります」某ファミリーレストラン

※ 学習者には難しいポイント

「お互いが異なるスタイルで話すこと」

例 部下は上司に対して「敬語」上司は部下に「友達」

「敬語だらけにしないこと」 ハイライトのように使う！

・・・関係が進むと言葉遣いが変わる・・・

「だんだん敬語をとること」「どこまで取ったらいいのか」

〔学び〕異なるスタイルがある。

人間関係によってお互いがそれを選ぶ

学習者が難しいのは、「_____」の切り替え

➤ 【金子立ち止まる…】…これで学生さんは大丈夫だろうか…

- 知識だけで終わる？
- 英語の練習があまりできなかった日本人のようになってしまう
- 私たち日本人は敬語を練習する機会はなかったけれど・・・
→ 現実場面を探そう！

➤ 【ケース1】金子の敬語クラスでは…（その1）

法政大学には「敬語1」「敬語2」の2クラス

敬語1クラス：敬語の基礎を学んでから、日常場面の待遇表現を学ぶ

敬語2クラス：待遇表現の基礎に立って、社会参加場面の待遇表現を学ぶ

※ 金子広幸（2014）『新にほんご敬語トレーニング』を使用。

● ある日の敬語1クラス

- ① 上司からの誘いを断ることになった主人公の課題を理解
- ② 課題解決を模索
- ③ 模範提示
- ④ キーワードと文型を導入
- ⑤ 練習（多くの部分は自宅でCDを聞きながら）
- ⑥ 翌週に文法・言葉のクイズ
- ⑦ ロールプレイ発表（発表役割・上下関係は発表直前に抽選で決める）
- ⑧ セルフチェックシートなどを書いてふりかえりを行う

➤ 【ケース2】金子の敬語クラスでは…（その2） 現実場面に即して練習

● ある日の敬語2クラス

実際に参加するかもしれない「アルバイト場面（サービス場面）」「電話対応」

「メール」「面接設定（就職・ボランティア・アルバイト）」「インタビュー」

「発表」「映画」

➤ 地域で支援をなさる皆さんに・・・

【ケース A】 Y市の学習者 Mさん。同国人の夫と来日。エスニック料理店でアルバイト

- ① 初日は「アルバイト先」で実際に話している言葉を再現してもらった
- ② そのリストをもとに、必要な敬語の文法や練習材料、場面を集めた。
- ③ ロールプレイを何度も重ね、最後は撮影した。
- ④ 次の課題を支援者・学習者で見つけた。

【ケース B】 F市の学習者 Tさん。日本人配偶者家族と同居することになった。

- ① 個人情報にも関わる問題だが、どんな話をしているか話してもらった。
(後日、この学習者に、日本語学習に理解のある家族の了解を得て、会話を録音してきてもらった)
- ② 家族がどんな人なのかも説明してもらった。
- ③ 学習者の立場から、伝えたいことを探し、模擬体験した。
- ④ 本番はその家族と話してもらい、後でふりかえりを行った。

● **学習者のタイプ別にどんな教材を選ぶ？**

金子広幸 (2014) 『新・にほんご敬語トレーニング』 アスク ￥1800

TOPランゲージ(2006)『実用ビジネス日本語 新装版 Practical Business Japanese 』
アルク ￥2800

小林ひとみ (2008) 『にほんご会話トレーニング』 アスク ￥1600

安藤節子他 (2009) 『改訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ』
スリーエーネットワーク ￥1500 [中級前期からあります]

小川誉子美 前田直子 (2003) 『日本語文法演習 敬語を中心とした対人関係の表現—
待遇表現—』 スリーエーネットワーク ￥1300

参考HP：「日本語教材コンシェルジュ ビジネス日本語のテキスト一覧」で検索